

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.111

## a taste of la'ssy

### 田中 康夫



たなかやすお●'56年生まれ。作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。  
【公式ブログ】 <http://tanakayasuo.net/>



## 密かな聖地としての地歩を固めつつある 洛北に登場した九州ラーメンの新星

### 今週の逸品



### とんこつチャーシューメンHOT 800円

東大路通を北上し、北大路通との交差点から更に進んだ一帯が一乗寺ラーメン街道。一騎当千な強者の狭間で営む常数6つの彗星。写真はチャーシュー大盛りHOT仕様。具沢山なちゃんぽんは太麺。出町柳で京阪

電車から叡山電鉄へ乗り換え、一乗寺で下車も一興。當り手の尾崎すずな女史はブログ「スッチーす～ちゃんの奇想天外な大転身「龍の鈴」への道」を物する元CAと後で知る。因みにスッチーは©ヤッシー造語。

【龍の鈴】京都市左京区山端大城田町26 ☎075-703-1267  
営12:00~15:00、18:00~22:00 不定休

illustration by Hajime Anzai



何を食べるか、だけでなく、何を何処で食えるか、或いは、何を誰と食えるか、は料理を味わう上で大切な要素です。誰と、は個々の読者諸姉諸兄に僕が指図し得る苦もなく、「あとは自分で考えなさい。」と申し上げるのみ。

招かずとも、お茶屋に隣接するカウターバーで食しても祇園乙部ならぬ真打ち・祇園甲部の奥深さを実感するでしょう。

む弥次喜多のかき氷も同様です。開け放たれた窓から流れ込む仄かな風を受けて初夏に、季節始めのクリームミルク白玉宇治金時を口に運ぶのは文字通りの臨場感。

年半前に紹介した祇園切通の割烹さか本も、硝子戸越しに眺める白川の流れと料理の細やかさが相俟って、他では到底味わえぬ満喫値を齎します。取り分け、桜の時期には、更には前号で登場の俵屋の湯豆腐は言わずもがな。

今回の「龍の鈴」は、一乗寺ラーメン街道と呼ばれる洛北に登場した九州ラーメンの新星です。と記すや、何処で食べるかの講釈から逸脱ではないか、と茶々が飛んでくるかも知れません。いえいえ、逆です。

豚の背脂でスープの表面が「包皮」された濃厚な味わいの京都ラーメンは、我々「洛外人」が思い浮かべる京都川薄味なる先入観との落差を以て意外値が高まり、拉麺店が林立する件の街道にも全国から「巡礼者」が押し寄せています。故に龍の鈴は異端者です。